

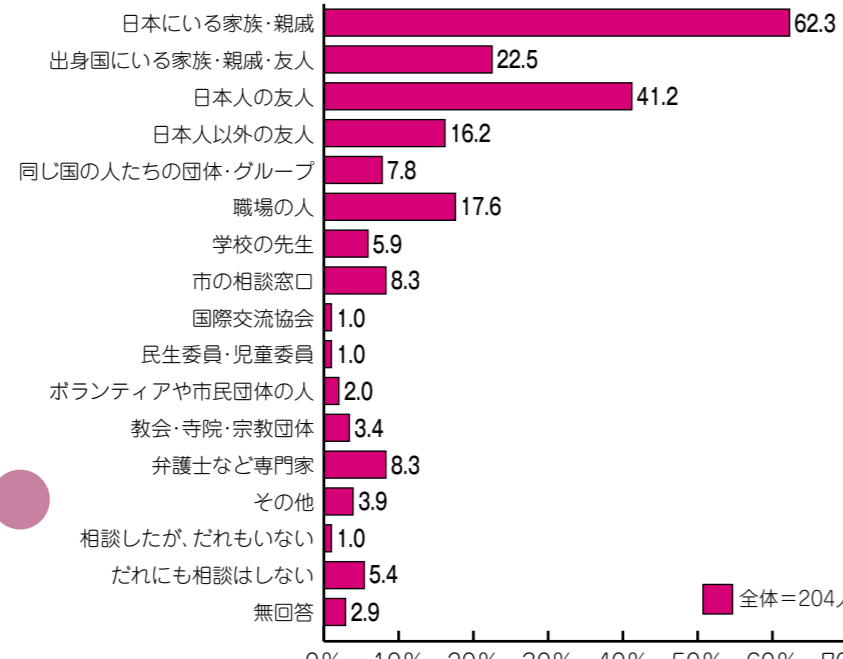
### 外国人市民への質問

<問>

日ごろ生活されるうえで、どのようなことにお困りですか。(すべて選んで○)

外国人が生活するうえで56%の人が何らかの内容で困っています。内容別には、「年金のこと」と「友だちが少ない」が最も多く、続いて「収入が少ない」や「相談できるところが少ない」などの順で困っています。

外国人が、困ったときの相談先は、「日本にいる家族・親戚」が最も多く、次いで「日本人の友人」「出身国にいる家族・親戚・友人」「職場の人」などの順となっています。



困ったことやトラブルなどがあつたときに、あなたはだれに相談していますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

### 外国人市民への質問

# 多文化共生ということばをご存知ですか？

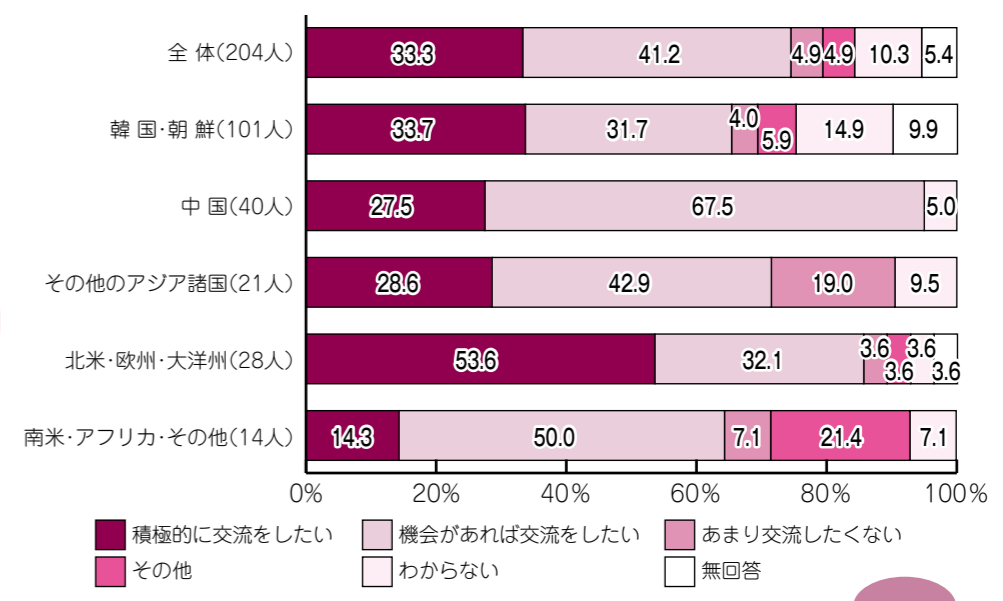
多文化共生とは、国籍や民族など異なる人たちが、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことをいいます。

三田市内には、4月末現在で36ヶ国、925人の外国籍の方々が住んでいます。市では、多文化共生のまちづくりをめざした基本方針策定の基礎資料として、今回、外国人市民及び日本人市民の方々にアンケート調査を行いました。

### 外国人市民への質問

<問>

あなたは、お住まいの地域などで日本人と交流することについて、どのように思われますか。(1つ選んで○)



### グラフにおける地域分類と国籍

地域分類	国籍
韓国・朝鮮	韓国・朝鮮
中国	中国
その他のアジア諸国	フィリピン・ベトナム・タイ・インドネシア・インド・バングラデシュ
北米・欧州・大洋州	オーストラリア・ニュージーランド・アメリカ(米国)・カナダ・イギリス(英国)・アイルランド・フランス・ドイツ・オランダ・スウェーデン・ロシア
南米・アフリカ・その他	ブラジル・ペルー・パラグアイ・モロッコ・国籍未記入

外国籍の4人に3人が日本人との交流に前向きです。特に北米・欧州・大洋州の人は過半数が「積極的に交流したい」と答えています。

言葉や文化の違いという壁は、さほど大きなものではなく、実は先入観というイメージが壁を作り出しているように感じます。日本人、外国人という違いで見るのではなく、互いに様々な違いのある人間同士として、相手をありのままに受け入れようとするところから「私」自身の多文化共生がはじまるのではないのでしょうか。

### 外国人市民意識調査の概要

調査対象	三田市在住の20歳以上の外国人市民(外国人登録者) 570件 ※外国人登録者のうち1世帯1名を抽出。
調査方法	郵送調査法(調査票を郵送で配布し、郵送にて回収) ※調査票は、日本語・韓国・朝鮮語・中国語・英語・ポルトガル語で作成し、日本語と外国語の調査票を同封して郵送した。
回収状況	(配布数) 570件 (到達数) 513件(あて名不明など除いた数) (回収数) 205件(無効回答を含んだ数) ※到達数に対する回収率 40.0% (有効回答数) 204件 (すでに帰国した人1件を除いた数) ※到達数に対する有効回答率 39.8%

### 日本人市民意識調査の概要

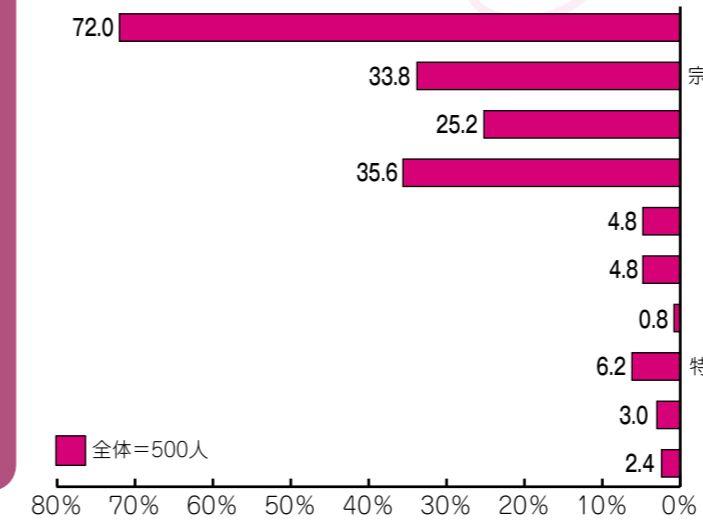
調査対象	三田市在住の20歳以上の日本人市民(住民基本台帳より無作為抽出) 1,000件
調査方法	郵送調査法(調査票を郵送で配布し、郵送にて回収)
回収状況	(配布数) 1,000件 (到達数) 999件(あて名不明など除いた数) (回収数) 501件(回答辞退を含んだ数) ※到達数に対する回収率 50.2% (有効回答数) 500件(回答辞退を含んだ数) ※到達数に対する有効回答率 50.1%

日本人が、外国人とつきあううえで問題としているのは「言葉の壁」が最も多く、72%を占めています。一方、外国人が、日本人とつきあううえで問題としているのは「特に問題となっているものはない」が最も多く、「言葉の壁」をあげているのは23%にとどまっています。

### 日本人市民への質問

<問>

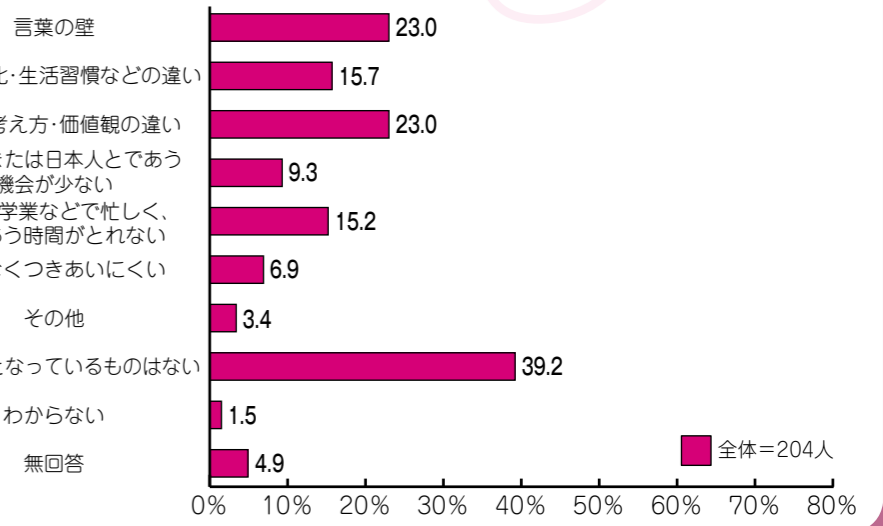
外国人とつきあわれるうえで、あなたにとって問題となっているものは何でしょうか。(あてはまるものをすべて選んで○)



### 外国人市民への質問

<問>

地域の日本人とつきあわれるうえで、あなたにとって問題となっているものは何でしょうか。(あてはまるものをすべて選んで○)



三田市のホームページにハンゲル版のページを新しく追加しました。同時に英語版のページもリニューアルしています。  
<http://www.city.sanda.lg.jp/>

